

第1章 主要施策の概要

本県では、平成23年度に「愛のくに 愛顔あふれる愛媛県」を基本理念とする第六次愛媛県長期計画「愛媛の未来づくりプラン」を策定し、産業、暮らし、人づくり、環境の4つの分野で基本政策を掲げ、県民と目標の共有を図りながら、愛顔あふれる愛媛県の実現に向けて取り組んできた（令和4年度末で、第六次愛媛県長期計画の計画期間は終了）。

《基本政策Ⅰ 生き活きとした愛顔あふれる「えひめ」づくり～次代を担う活力ある産業を“創る”～》

「スゴ技」「すご味」「すごモノ」データベース等を活用したトップセールスを国内外で展開するなど、関係機関と連携しオール愛媛で販路拡大を図るとともに、スマート農業機械を活用した省力化や高品質化への研究や普及促進に加え、産業界が求めるデジタル人材の産学官の連携による育成・確保に向けた体制の構築に取り組んだ。

また、世界最大の越境E C市場である中国をターゲットとした県産品の販売促進プロモーションを行うとともに、4年ぶりとなる国際サイクリング大会「サイクリングしまなみ2022」を開催したほか、「えひめ南予きずな博」を契機とした南予地域への誘客促進などに取り組んだ。

《基本政策Ⅱ やすらぎの愛顔あふれる「えひめ」づくり～快適で安全・安心の暮らしを“紡ぐ”～》

県内のコワーキングスペースや首都圏経済界と連携したテレワーカーの誘致促進のほか、オンライン移住フェアを通じた移住者の受入態勢を強化、南予でのワーケーションの誘致等による本県への移住・定住の促進を図るとともに、J R 松山駅付近連続立体交差事業の推進、とべ動物園の魅力向上など快適で魅力あるまちづくり、ドクターヘリの運航による救急医療体制の充実などに取り組んだ。

また、引き続き、防災士の養成等を行い自助・共助による地域防災力の一層の向上に取り組むとともに、平成30年7月豪雨災害からの早期復旧を図るほか、あらゆる関係者が一体となって取り組む「流域治水プロジェクト」の推進など、防災対策の更なる充実・強化を図った。

《基本政策Ⅲ 輝く愛顔あふれる「えひめ」づくり～未来を拓く豊かで多様な『人財』を“育む”～》

えひめ結婚支援センターの機能強化を図るとともに、社会全体で次代を担う子どもたちを応援するため、官民共同による「子どもの愛顔応援ファンド」を活用し、市町との連携事業や、紙おむつの提供、不登校児童生徒の居場所づくりなど、愛媛オリジナルの子育て支援施策の充実などに取り組んだ。

また、県立高校で教科横断型・課題解決型の学びとプログラミング教育等を融合させた「えひめ版STEAM教育」の確立を目指すなど、未来を拓く豊かで多様な『人財』育成に取り組んだ。

さらに、愛顔あふれる感動エピソードや写真を全国に発信することで、愛顔の浸透と本県のイメージアップを図るとともに、令和4年度全国高校総体の本県実施8競技の円滑な運営に努めたほか、本県初開催となる令和5年度全国健康福祉祭（ねんりんピック）の成功に向けた準備を加速化させた。

《基本政策Ⅳ やさしい愛顔あふれる「えひめ」づくり～調和と循環により、かけがえのない環境を“守る”～》

国の脱炭素先行地域への採択を目指し、「とべもり」エリアでのゼロカーボン達成に向けたモデルプランを策定するとともに、海洋プラスチックごみの削減対策の推進や食品ロスの削減に向け、フードバンク活動への支援や県民への普及啓発を推進した。

さらに、県産CLTの普及・PR活動の展開など、積極的な森林資源の活用を図り、恵み豊かな森林づくりに取り組んだほか、令和8年度の全国植樹祭の招致を目指し、準備委員会を設置した。

○第六次愛媛県長期計画「愛媛の未来づくりプラン」について

長期ビジョン編とアクションプログラム編の2部構成

- ・長期ビジョン編（平成23年9月策定）

概ね10年後の目指すべき将来像やその基本的な考え方などを示す基本構想

- ・アクションプログラム編

長期ビジョン編で描いた将来像の実現に向けて、4年間（第1期：平成23～26年度（平成23年12月策定）、第2期：平成27～30年度（平成27年5月策定）、第3期：令和元～4年度（令和元年5月策定））で必要な政策の方向性などを示す基本計画

○主要施策の成果説明書について

本説明書は、第3期アクションプログラム編の政策体系に合わせ、55施策、推進姿勢の順に掲載
なお、100万円以上の不用額が発生した事業については、その理由を簡潔に記載

○成果指標について

施策ごとの達成目標を分かりやすく数値で表したもので、本説明書では、アクションプログラム編の指標の実績値（最新値）を掲載

